

「ステップ教室(不登校生徒対応教室)」を活用した支援体制について

不登校生徒の状況

本校では、全校生徒の約 10%以上が不登校の状態にある。その内訳としては、小学校段階から不登校傾向がみられた生徒が多いが、中学校入学後の人間関係によるもの、生活リズムの乱れや家庭環境に起因するものなど多岐に渡っている。このため、生徒一人一人に応じて適切な支援を行っていくことが求められている。

具体的な取組

【ステップ教室】

不登校生徒の教室復帰に向けて、「ステップ教室(不登校生徒対応教室)」を週 3 回、午前中に開設している。ステップ教室では、授業のプリントやワークシートに取組など、生徒が用意した課題や読書などをして過ごしている。担任や支援員との対話を通して、状況の把握も行っている。

【ステップ教室の利用について】

ステップ教室の利用に当たっては、本人・保護者からの要望を受けて、毎週の校内委員会で検討している。教室復帰に向けた目標等を生徒・保護者とも確認することとあわせて、ステップ教室の利用が当該生徒にとって、より効果的にするためについて、保護者と丁寧に確認をしている。

【ケース 1：教室に入ることのできる生徒】

ステップ教室で時間割を確認し、授業内容や持ち物を事前に把握することで、教室に入るハードルを下げている。また、事前に本人の不安要因等を確認し、その内容を担任や授業者と共有することで、安心して教室で過ごすための環境を確保している。



【ケース 2：教室に入ることが難しい生徒】

登校したら職員室で挨拶をすること、自身で利用記録簿を受け取ることをルールとして設定し、教員と関わる機会を大切にしている。また、学校行事等においては、支援員の付き添いの下で参観を行う機会を確保し、教室復帰への意欲をもたせている。

成果

3名の支援員の協力により、週 3 回のステップ教室の開設ができた。時間割を参考に利用日を考える生徒もおり、教室復帰に向けた効果的な取組となった。また、支援員 1 名が校内委員会に参加することで、生徒の状況の把握や適切な支援にもつながった。

課題

2 学期に入り、不登校生徒が増える状況が見られた。ステップ教室の利用生徒数に関わらず、丁寧な対応の維持が課題である。